65歳以上の4人に1人は認知症、または認知症予備軍と言われています。
近年では65歳未満のいわゆる若年性認知症の方も増えてきており、
認知症は私たちにとって身近なものとなっています。

ご自身のため、大切な人のために、
ちょっと先のことを一緒に考えてみませんか？

小豆島町

認知症ケアパス

認知症ケアパスとは？

認知症を発症し、症状が進行していく中で、認知症の方やその家族が、
いつ・どこで・どのような・医療・介護・支援 が
受けられるか、ケアの流れを示した手引きです。

認知症は早期発見が大切です

認知症は、めずらしい病気ではありません。
他の病気と同じく早期発見がとても大切です。

早期発見による3つのメリット

①症状を改善することができる

認知症の原因となる病気は様々であり、早期に発見し、早期に治療を始めることで、進行を遅らせることができる等、症状の改善が期待できるものもあります。

②他の病気と見極めることができる

認知症の代表的な症状である「物忘れ」は、他の病気の症状として現れることもあります。
早期に気付き、病院受診をすることで、正しい診断・治療を受けることができます。

③今後の生活の準備ができる

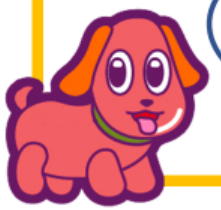
症状が軽いうちに、ご本人やご家族が認知症への理解を深め、病気と向き合うことができます。その中で、今後の生活について話し合い、準備をすることができます。

不安を抱えている方へ

生活の中でご自身やご家族が、ちょっとした変化に気づく場面があると思います。
早期発見の目安を知っておくことで、早期対応につながります。

気づきのポイント

- □ 同じことを何度も言う・聞く・する
- □ 新しいことを覚えられない
- □ 約束の日時や場所を間違える事がある
- □ ささいなことで怒りっぽくなった
- □ 不安を感じることが多くなった
- □ 趣味等への興味・関心が減った



複数あてはまったら、
相談のタイミングかも
しれません。（10ページ参照）

もくじ

○ 認知症ってどんな病気？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P

○ 上手な接し方　大切な『3つのない』 ・・・・・・・・・・・・・・ 2P

○ 認知症の状態に合わせて利用できる支援の流れ・・・・・・・・・ 3～4P

○ 介護予防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5P

○ 医療 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6P

○ 介護保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7P

○ 安否確認・見守り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P

○ 家族支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9P

○ 相談 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10P

○ 住まい ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11～12P

○ 権利を守る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～14P

○ 運転免許の自主返納について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15P

○ オレンジ情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16P

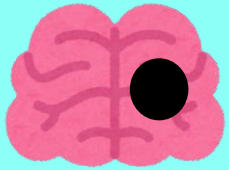
認知症ってどんな病気？

認知症は、誰にでもおこりうる「脳の病気」です。
何らかの原因で脳が小さくなってしまったり、働きが悪くなることで、記憶障害・判断力や理解力の低下等の症状が現れ、生活する上で支障が出てきます。

主な認知症三大

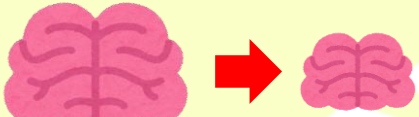
脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などにより、部分的に脳の神経細胞の働きが悪くなります。
体に麻痺が生じることもあります。



アルツハイマー型認知症

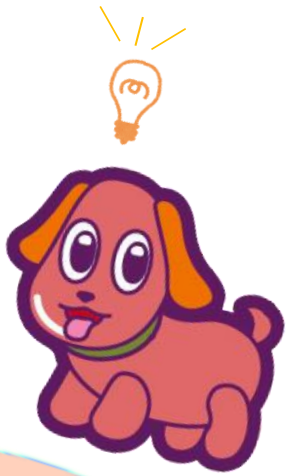
記憶をつかさどる海馬を中心に脳内が委縮します。
軽度の物忘れから徐々に進行していきます。



レビー小体型認知症

脳内に溜まったレビー小体というたんぱく質により、神経細胞が破壊されます。
物忘れの症状が少なく、幻視や手足のふるえが起こります。

他にも原因は様々。
原因を知ることがとても大切だよ。



上手な接し方

大切な『3つのない』

接し方によって認知症の症状を和らげることができます。

ちょっとした工夫で、介護者の負担軽減にもつながります。

いそがせ『ない』

　たくさんのことを一気に話すと、混乱してしまいます。
　ゆっくりと短い言葉・分かりやすい言葉で伝えましょう。
　また、相手の返事を待つことも大切なポイントです。

おどろかせ『ない』

　自分の置かれている状況が分からなくなり、場所や人の認識に時間がかかります。
　話しかける時等は、正面からゆっくりと近づくようにしましょう。顔が見えると安心します。

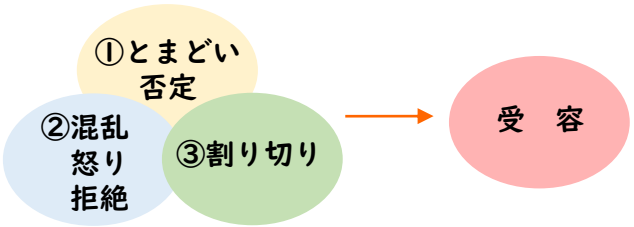
心を傷つけ『ない』

　認知症の方は、今までと違う状態に不安や戸惑いを感じます。
「なんでできないの？」等、ちょっとした一言で傷つきます。
　嬉しくなる言葉・元気になる言葉をかけてあげましょう。

認知症の状態に合わせて利用できる支援の流れ

認知症の経過	認知症の疑い・MCI(軽度認知障害)・軽度認知症		中等度認知症	重度認知症
	日常生活は自立	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	・外出するのが面倒になった ・服装に気を遣わなくなった ・同じことを何度も話す ・お札での支払いが増えた ・料理の味付けが変わった ・車をこすることが増えた	・物が無くなると家族等身近な人のせいにする ・大事な約束を忘れる ・計算の間違いが増える ・趣味等をしなくなる ・冷蔵庫の中に同じ物がある ・とりつくろう言動が増える	・たった今しようとしたことや話したことを忘れる ・料理をしなくなった ・ささいなことで怒りっぽくなった ・薬の管理ができない ・道に迷い家に帰れないことがある	・季節に合った服装が選べない ・身だしなみを気にしなくなる ・箸の使い方が分からない ・排泄に失敗が増える ・知人が分からない	・身近な家族の顔が分からない ・思うように体が動かせなくなる ・食べ物が飲みこみにくくなる
本人の気持ち	●自分がこれまでと違うことに気づき不安になる	●物忘れや失敗が増え、これまでできていたことができなくなり、落ち込む ●他者とのコミュニケーションがとりにくくなり、趣味等に興味がなくなる ●失敗した時にどうしたらいいか分からず、イライラする・悲しくなる		●自分の感情や気持ちをうまく言葉にできない

家族の気持ち



家族の誰かが認知症になったとき、誰しもショックを受けます。
そこでまず、「①とまどい・否定」、「②混乱・怒り・拒絶」を経験します。
その後、「③割り切り」に行きつきますが、本人の認知症進行による状態変化で再び①や②に戻り、①～③を繰り返します。
「受容」のために家族は、不安・悩みを抱え込まないことが大切です。
※「受容」までには個人差があります。

決めておきたい事

「もしも」は、いつ起こるか分かりません。
「もしも」のことをまずは自分自身で整理することが「自分らしくいきる」ための第一歩です。
整理したことを、書き残し、家族・友人等、自分にとって「大切な人」に伝えましょう。
また、「大切な人」の「もしも」について知っておくことも大切です。
小豆島町では、「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」という、あなたの考え・想いを書くことができる資料があります。ぜひ、ご活用ください。

介護予防 ➡5ページ

○健康教室(保健師による栄養指導等)　○老人クラブ　○シルバー人材センター　○公民館活動
○百歳体操　○地区サロン　○介護予防運動教室

ボランティア活動

医　療 ➡6ページ

○かかりつけ医　○認知症サポート医　○認知症疾患医療センター

認知症初期集中支援事業

介護保険 ➡7ページ

申請窓口を知っておきましょう。
小豆島町の申請窓口は、
小豆島町役場高齢者福祉課です。

要支援1・2（地域包括支援センター）

要介護1～5（居宅介護支援事業所）

小規模多機能型居宅介護施設

サービスには、デイサービス・ヘルパー訪問・短期入所・訪問看護・福祉用具貸与等があり、
本人・家族の状況に応じて、ケアマネジャー等がサービス調整を行います。

安否確認・見守り ➡8ページ

○家族　○地域住民　○民生委員・児童委員　○介護予防支援ボランティア　○認知症サポーター・こまめ隊

○緊急通報装置貸与　○配食サービス

認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業

家族支援・相談 ➡9～10ページ

○小豆島町地域包括支援センター（高齢者福祉課）　○認知症疾患医療センター　○香川県若年性認知症支援相談窓口

小豆島町こまめカフェ(認知症カフェ)

在宅で介護をしている家族のつどい

住まい ➡11～12ページ

自宅　※要介護1から在宅復帰のために介護老人保健施設入所を利用できます。

○軽費老人ホーム　○ケアハウス

○グループホーム　○特別養護老人ホーム

○有料老人ホーム

権利を守る ➡13ページ

日常生活自立支援事業(小豆島町社会福祉協議会)

成年後見制度

介護予防

“介護予防”　といっても特別なことは必要ありません。
ちょっとした工夫や意識で日常的に取り組めることがたくさんあります。
今ある交流や外出を続けることも大切な介護予防の一つです。

慣れ親しんだ地域で

百歳体操
（いきいき百歳体操実施団体）

週1回程度、各地区の集会所や公民館等で百歳体操を行っています。
百歳体操は座ってできる体操が中心でお家でも気軽に取り組むことができます。

地区サロン
（介護予防グループ活動実施団体）

月1回程度、各地区の集会所や公民館等でサロン活動を行っています。
活動内容は、体操・レクリエーション・食事会等、各地区によって様々です。

各項目の詳細は地域包括支援センターへ

ボランティア活動

介護予防支援ボランティア

「地域でちょっとしたお手伝いがしたい」
そのような気持ちをお持ちの方はぜひ、介護予防支援ボランティアとして活動しましょう。
※オリーブ健康塾受講が必要です。

施設に通って

介護予防運動教室

週1回、施設等に通って介護予防のための運動を行います。
利用には申請・介護認定等(※)が必要です。

(※)事業対象者・要支援1もしくは2の認定をお持ちの方です。

予防のコツは　テクテク(運動)　・　カミカミ(食事)　・　ニコニコ(楽しみ)　・　ドキドキ(生きがい)　です

医療

“認知症”にとって医療との繋がりはとても重要です。
「あれ？」と感じたその時から早めに病院受診をすることで、
適切な検査・治療が受けられ、認知症と上手に付き合っていけます。

小豆島病院

小豆島病院は【認知症疾患医療センター】や【物忘れ外来】、【認知症サポート医】が設置・配置されており、島内で専門的に認知症の相談や検査ができる病院です。

認知症疾患医療センター

認知症の相談に対応し、物忘れ外来では必要に応じ診察をしたり、他の認知症専門医療機関の紹介等を行います。

住所：小豆島町池田2519番地4
電話：0879-75-0579(直通)
相談受付：月～金(祝祭日は除く) 9:00～17:00

認知症初期集中支援チーム

在宅で生活する認知症の方や認知症が疑われる方を訪問し、認知症の早期診断・早期対応・重症化防止を目指し、ご本人の生活を支援する専門職のチームです。
チーム員は認知症サポート医・社会福祉士・保健師等で構成されています。
地域包括支援センターに設置しています。

【お問い合わせ】
小豆島町地域包括支援センター
電話：0879-82-7006

かかりつけ医

普段から関わりのあるかかりつけ医に相談し、専門医療機関を紹介してもらうことで安心して受診できる可能性があります。
また、認知症の診断を受けた後も、認知症疾患医療センターとかかりつけ医で連携をとる等しながら、引き続きかかりつけ医と認知症の治療に取り組むこともできます。

介護保険

介護保険制度は、市区町村が保険者となって運営しています。
40歳から加入者(被保険者)となって保険料を納め、介護が必要になったときには、費用の一部を支払ってサービスを利用できるしくみです。

サービス利用までの流れ

①相談
まずは小豆島町高齢者福祉課(☎82-7006)へご相談ください。

→ **②申請**
必要な書類を揃え、申請します。
(提出先：小豆島町高齢者福祉課)

→ **③認定調査**
心身の状況について、本人・家族等から聞き取り調査を行います。

→ **④認定結果**
審査の結果をご本人様にお知らせします。

→ **⑤ケアプラン作成**
サービスの利用にあたって、ケアプランの作成が必要です。

介護認定の結果に応じて、各事業所のケアマネジャーがケアプラン作成を行いますので表をご参照ください。

本人の状況に合わせ、通所、訪問、宿泊、福祉用具等のサービスをケアマネジャーと一緒に検討します。

【要支援1・2の認定結果の方】

事業所名：小豆島町地域包括支援センター
住所：小豆島町片城甲44-95
電話：0879-82-7006

【要介護1～5の認定結果の方】

事業所名	住所	電話番号
マリアの園	小豆島町草壁本町1-3	☎0879-82-3578
介護サービスうちのみ	小豆島町片城甲44-95	☎0879-82-7034
居宅介護支援事業所青空	小豆島町片城甲44-192	☎0879-82-5838
サンシャイン居宅介護支援事業所	小豆島町蒲生甲397-2	☎0879-75-0626
居宅介護支援事業所はまひるがお内海	小豆島町安田乙158-2	☎0879-62-8337

【地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護施設)】
(要支援1・2、要介護1～5の認定があり、小豆島町に住所がある方が利用できます)
通いを中心に、訪問や泊まりのサービスを組み合わせて利用することができます。

事業所名	住所	電話番号
サンリゾート	小豆島町蒲生甲397-2	☎0879-75-0596
はまひるがお	小豆島町蒲野1821	☎0879-76-0171
はまひるがお福田	小豆島町福田甲575-1	☎0879-84-3117
はまひるがお坂手	小豆島町坂手甲798	☎0879-62-8317

安否確認・見守り

日頃からの安否確認・見守りは、認知症の方やそのご家族が安心して過ごすための大切なポイントです。また、認知症の症状による行方不明等を未然に防ぐことにもつながります。

見守りボランティア

地域の介護予防支援ボランティア等がご自宅に訪問し、定期的な安否確認やお話相手になってくれます。

緊急通報装置貸与

定期的に電話で安否確認をします。
また、電話やペンダントを押すと、
緊急連絡先につながり、
体調不良時などの不安を軽減します。

対　象：一人暮らし、高齢者世帯など
利用料：220円/月(住民税課税世帯)
　　110円/月(住民税非課税世帯)

配食サービス

栄養バランスのとれた昼食を安否確認を兼ねてご自宅に配達します。

認知症高齢者等見守りSOSネットワーク事業

認知症等により、お出かけした時に道に迷う可能性のある方に事前登録していただき、もしも行方が分からなくなった時には関係機関(警察・消防・社会福祉協議会・病院等)や協力事業所等に情報提供し、速やかな捜索活動を支援するネットワークです。
土庄町と連携して小豆郡全体で取り組んでいます。

👇事前登録いただいた方は、下記についてもご利用できます。

●服・帽子等に貼り付けることができる『見守りQR』を配布します。
見守りQRは、スマートフォン等で読み取ることで
連絡先が表示され、スムーズに身元確認が行えます。
※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

●GPS位置情報検索サービスの初期費用を補助します。
対　象：要介護1～5の認定を受けている方
対象額：GPS位置情報検索サービス利用開始にかかる基本的な初期費用の全額(ただし、18,000円限度とします)。

関係機関・協力事業所の目印となるステッカーです。

このページに関するお問い合わせは、
小豆島町地域包括支援センターへ
電話：0879-82-7006

家族支援

認知症の方等を介護されている方が気軽に集える場があります。
また、専門職による認知症についての相談もできます。

集いの場

在宅で介護をしている家族のつどい

在宅で介護をしている家族が集まり、日ごろの悩み等を相談し、リフレッシュします。
年1回程開催しており、広報等で周知しています。

医師や相談員との相談も可能です。

認知症カフェ

認知症の方やそのご家族、地域住民、介護や福祉の専門職など、子どもから大人まで誰もが気軽に集える場所です。
本町では、『こまめカフェ』と称し、事業所等に委託して実施しています。

★こまめカフェ サンリゾート
場所：サンリゾート多目的ホール（小豆島町蒲生甲397番地2）
電話：0879-75-0596
日時：毎月15日（10月を除く）14:30～16:00
参加費：無料
※認知症についての相談がある等の場合は事前にご連絡ください。

お気軽にご参加ください

認知症の方やそのご家族の力になりたいという方へ

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者です。
子どもから大人まで誰もがなることができます。
講座のお申込みは、小豆島町地域包括支援センターへ（電話：0879-82-7006）

ステップアップ講座（こまめ隊養成塾）もあります♪

相談

相談は、認知症早期発見の第一歩になります。「認知症かな？」等と感じたら、一人で悩まず、下記の相談窓口へお気軽にご相談ください。

小豆島町地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、高齢者やその家族に対する総合相談を行っており、認知症についての相談もできます。
また、専門機関等との連携を図りながら、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築なども行っています。

住所：小豆島町片城甲44番地95(高齢者福祉課内)
電話：0879-82-7006
相談受付：月～金(祝祭日は除く) 8:30～17:15

地域包括支援センターには、
主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士等の
専門職がおり、電話相談・来所相談・
訪問相談等ができます

認知症疾患医療センター

認知症に関する専門相談窓口です。
かかりつけ医・地域包括支援センター・ケアマネジャー等と連携を行い、医療・福祉の両面からサポートします。
認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるために支援していきます。

※小豆島病院内に設置されています。
詳細については6ページをご覧ください。

香川県若年性認知症支援相談窓口

若年性認知症支援コーディネーターが、若年性認知症に関する相談支援を行うと共に、医療・福祉・就労に関わること等を支援します。
ご本人やご家族からの相談はもちろん、企業や行政等の関係機関からの相談にも応じます。

電話：080-4719-5073
相談受付：月～金(祝祭日は除く) 9:00～16:00

住まい

家での生活が難しくなってきた・不安がある等の方は、
状態に応じて施設入所を検討いただけます。

※入所申込は基本的に直接施設に行っていただきます。

軽費老人ホーム・ケアハウス

60歳以上で身の回りのことができる方が入居できます。

軽費老人ホーム シーサイドサンシャイン	小豆島町 蒲生甲350	☎0879- 75-0707
ケアハウスオリーブ	土庄町 甲1360-92	☎0879- 62-7778

有料老人ホーム

高齢者が暮らしやすいように配慮した住居です。
入居に際しての条件は施設によって異なりますので、直接お問い合わせください。

お元気村青空	小豆島町 西村甲2122-1	☎0879- 82-7116
ケアサポートつばさ	小豆島町 神懸通甲1662-1	☎0879- 82-5127
はまひるがお内海	小豆島町 安田乙158-2	☎0879- 62-8277

グループホーム

認知症の方が家庭的な雰囲気の中で少人数の共同生活を送ることにより、認知症の症状の進行を緩和させ、よりよい日常生活を送れるよう支援する施設です。
（小豆島町に住所があり、要支援2以上の方が対象）

グループホーム青空	小豆島町 西村甲2121-1	☎0879- 82-6368

施設入所後も交流行事等を通して、地域とつながりを持ち続けることができます。

介護老人保健施設

状態が安定している方が在宅復帰を目指して、医学的管理の元でリハビリテーションを中心としたケアが受けられます。（要介護1以上の方が対象）

介護老人保健施設 うちのみ	小豆島町 片城甲44-95	☎0879- 82-7031
介護老人保健施設 豊寿園	小豆島町 池田799	☎0879- 75-1677

介護医療院

長期にわたり療養が必要である方に対し、療養上の管理・看護・医学的管理を受けながら介護及び機能訓練等を受けられます。（要介護1以上の方が対象）

小豆島病院	小豆島町 池田2519-4	☎0879- 75-0570

特別養護老人ホーム

寝たきり等で日常生活において常時介護が必要な方が施設入所し、食事・入浴・排泄などの介護を受けられます。（原則、要介護3以上の方が対象）

特別養護老人ホーム うちのみ	小豆島町 片城甲44-95	☎0879- 82-7032
マリアの園	小豆島町 草壁本町1-13	☎0879- 82-3578
リベラル サンシャイン	小豆島町 蒲生甲350	☎0879- 75-2187
小豆島老人ホーム	土庄町 渕崎甲518	☎0879- 62-0437
あづき	土庄町 甲1360-143	☎0879- 62-7707
豊島ナオミ荘	土庄町 豊島家浦43-10	☎0879- 68-3131

自分に必要な介護を
受けることができ、
安心して過ごせます。

権利を守る

「自分のことは自分で決めたい」「大切なものを守りたい」
その想いが、いつでもどこでも、どのようになっても守られて
いくように、事前の手続き・必要に応じての手続きができます。

日常生活自立支援事業

自らの判断で適切に金銭管理や書類の手続きを行う等が
不安になった時に、一緒に支援を行ってくれる制度です。

【お問い合わせ】
小豆島町社会福祉協議会：0879-82-5318

成年後見制度

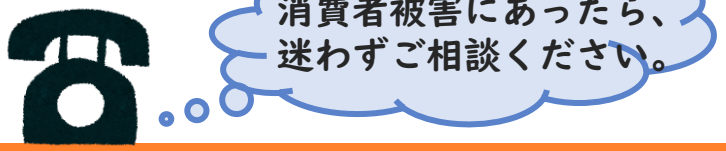
認知症などで、理解力・判断力が不十分な人に
代わって後見人等が手続きや金銭管理を行います。
裁判所での手続きが必要になります。

まずは、小豆島町地域包括支援センターへ
ご相談ください（電話：0879-82-7006）

消費者センター

消費者被害に関する相談、クーリングオフ等
の助言や、弁護士等の紹介をします。

【お問い合わせ】
・香川県小豆県民センター：0879-62-2269
・香川県消費生活センター：087-833-0999
・消費者ホットライン：188(局番なし)



無料法律相談

香川県弁護士会の弁護士に無料法律相談ができます。

日時：毎週火曜日
（ただし、第5火曜日・祝祭日は除く）
場所：第1・3火曜日/池田保健センター
第2・4火曜日/土庄町立中央公民館
※事前予約制です。相談日前日正午までにご予約ください。

【お問い合わせ】
香川県弁護士会事務局：087-822-3693

～ 私 の 大 切 な メ モ ～

自分のことについて書いてみませんか。書いた後は、ご家族・友人等に自分のことを話すきっかけにしてみましょう。

あなたと関わりのある人は誰ですか

家族：

友人：

民生委員：

かかりつけの病院はどこですか

病院名：

病気：

緊急時は誰に連絡しますか

①氏名：

連絡先：

②氏名：

連絡先：

自由メモ

（好きな場所、大切にしているもの等）

『もっと自分の想いを書きたい！』という方はぜひ、ACP資料を活用しませんか。
ACP資料は、小豆島町地域包括支援センターでお渡ししています。※3ページ下段参照

運転免許の自主返納について

自動車等の運転を継続することに不安を感じている方は、運転免許の自主返納ができます。

【自主返納の受付窓口】

●小豆警察署(小豆島町苗羽甲1351-1)
電話：0879-82-0110
受付時間：8:30～12:00・13:00～16:00
※祝休日、年末年始は除く

●小豆運転免許更新センター(土庄町淵崎甲2189-2)
電話：0879-62-6110
受付時間：10:30～11:30・14:00～15:30
※祝休日、年末年始は除く

返納後に受けることができるサービス★

香川県ホームページ

詳しくは、ホームページをご確認ください。

小豆島町ホームページ

香川県

優遇店で「運転経歴証明書」または、「高齢者運転免許卒業カード」を提示することで、優遇サービスを受ける事ができます。

小豆島町

小豆島町に住所登録している満65歳以上の方で運転免許証を自主返納してから3ヶ月未満の方を対象に、オリーブバスやタクシーの利用料を助成します。

【お問い合わせ】
小豆島町企画財政課(0879-82-7000)

オレンジ情報

認知症の応援カラーは、オレンジ色 です。
このページでは、本町の認知症応援情報をお伝えします。

銀行やスーパーにも認知症サポーターがいます。この旗等が目印です。

9月は『かがわ認知症予防月間』

香川県では、毎年9月を『かがわ認知症予防月間』と定め、認知症予防に関する知識の普及啓発に取り組んでいます。本町では、月間に合わせて、役場や町立図書館のロビーに認知症に関する展示等を行っています。

月間中、オリーブ公園ギリシャ風車もオレンジ色にライトアップされます。

認知症サポーターカードとこまめ隊バッジ

本町の受講修了者数

- 認知症サポーター：2061人
- こまめ隊：776人

（令和7年3月末時点）

認知症サポーター養成講座受講修了者には『認知症サポーターカード』、
ステップアップ講座(こまめ隊養成塾)受講修了者には『こまめ隊バッジ』をお渡ししています。

※詳細については9ページ参照

小豆島町チームオレンジ

登録団体募集中です！

チームオレンジは、認知症の方やそのご家族を支えるために、認知症サポーターや認知症の方と関わりのある方が地域でチームを組むものです。認知症の方もチームの一員であり、一緒に活動・活躍します。

認知症の有無に関わらず、
誰もが安心して過ごせる町づくり

小 豆 島 町
希望が持てる認知症ケア　３か条

①認知症を「我が事・お互い様」と考える。

②本人の声を聞き、「本人ができる事」を一緒に取り組む。

③認知症になっても、自分らしく。役割を持って、地域で活躍。

～ 小豆島町地域包括支援センター ～
☎0879-82-7006